



さくほ 議会だより



ブルーーン



東小最後の運動会 「やったネ」絶妙のバランス！

9月定例会のあらまし	2P
平成22年度 一般・特別 各会計決算を認定 ..	3P
一般質問（5人が町政を質す）	4P～
第5回 臨時議会	6P
総括質疑	7P
委員会活動から	8P～
視察報告	10P
請願・陳情	11P
しらかば	12P

平成23年10月27日

第26号

発行：佐久穂町議会
議長 今井 邦三
編集：議会広報編集調査特別委員会
印刷：(有)東城印刷佐久穂工場
〒384-0697
長野県南佐久郡佐久穂町
大字高野町569
TEL 0267-86-2525
FAX 0267-86-4935

平成23年

9月定例会

定例会のあらまし

きびしい暑さは残るものの、秋の気配が漂い始めた中、第6回定例会が9月7日より開会されました。

町長は招集あいさつで、つい先日(9月2日)に野田新内閣が発足したことにつれ、待ったなしの震災復興、原発事故対応、世界的な景気低迷と円高など山積みする課題に、与野党とも協調し、国民の願いにこたえ、復興支援に当たってほしいとの思いを述べました。

台風12号は、近畿地方を中心に大きな被害をもたらしました。

今年は大震災とともに、想定外の災害が各地で起きているので、来年度は地域防災計画の見直しをしたいとの考えを示しました。

行政の動きについて、過日、町の主催で「みんなであれよう、心の健康」というテーマの健康管理合同会議を開催したことが報告されました。うつ病や自殺などに関する地域の現況を学習した結果、①偏見が多い精神疾患の症状と対応法を知ることの大切さ。②声か

けを中心とする地域のつながりの大切さ。この2つが共通の認識となったことです。

府中市と森林整備協定が締結されました。府中市のごみ袋焼却によって増える二酸化炭素排出量を、佐久穂町の森林整備によって生まれる二酸化炭素吸収増加分で相殺しようというもので、カーボンオフセット事業と呼ばれています。

統合小中学校整備事業では、建設検討委員会が6回にわたって開かれ、基本設計の原案及び修正案への意見等が提出されました。

この他、お米の放射性物質の検査のこと、元気が出る公園のマレットゴルフ場が改修オープンし、本年11月末まで無料とすることなどが報告されました。

提出された議案等は、平成22年度一般会計及び国保会計他10件の特別会計認定案、平成23年度一般会計及び特別会計補正予算案が、条例では、暴力団の排除条例案など6件が、他に広域連合規約改正案1件でした。請願3件、陳情1件が提出されました。

決算認定

平成22年度の一般会計及び、11の特別会計決算審議が行われ、認定されました。

専決処分

専決(議決を経ず予算を使うこと。後に議会の承認が必要)

7月3日に発生した集中豪雨災害の復旧費支出のため、一般会計を補正

条例

暴力団排除条例

町民の安全で平穏な生活確保を図ることを目的に、条例を制定。

定住自立圏に関する条例

佐久市を中心とする定住自立圏への参加、不参加を議決で決定する条例。

税条例改正

町税等を故意に不申告した者への、料引き上げなどの改正。

障がい者支援施設の設置条例

障がい者の共同生活支援施設「ほほえみ」の運

営に関する条例。

この他、町営住宅への入居条件緩和に関する条例、災害弔慰金の支給対象拡大に関する条例案が提出されました。

補正予算

一般会計、国保会計ほか3特別会計の補正予算。

一般会計は、統合小中学校建設に関連して、プール・テニスコートの解体工事費などが計上されました。

国保会計他特別会計の補正は、繰越金の増額などによるものです。

規約

佐久広域連合規約の改正です。

成年後見支援センター、障害者支援センターの事務を、佐久広域連合で行うための規約改正です。

請願・陳情

消費税増税に反対する請願。原発から撤退し、自然エネルギーへの転換を求める請願及び陳情。郵政民営化の見直しを求める請願が提出されました。

一般質問

5人から提出され、防災対策、自然エネルギーの活用、外来植物の駆除、子育て支援などについて町政のあり方などを質しました。



9月定例会

平成22年度 一般・特別 各会計 決算を認定

一般会計

収入

87億6,094万2千円

支出

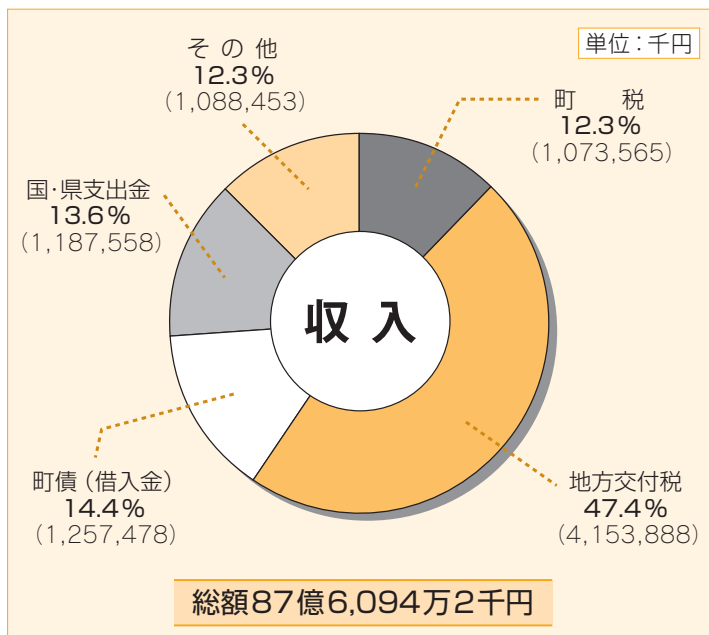
82億2,785万5千円

平成22年度決算

一般会計、特別会計決算について、慎重審議を行いました。それぞれを認定しました。

◆一般会計◆

収入決算額
87億6,094万2千円
支出決算額
82億2,785万5千円
翌年度繰越額、1億953万円を引いた、実質収支

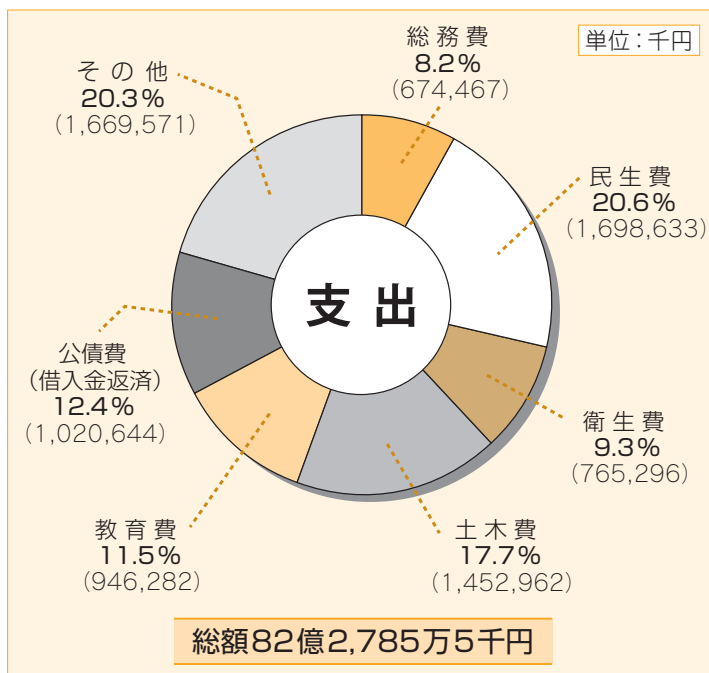


額は4億2,355万8千円となり、基金に2億1,500万円、積み立てました。主としての収入財源は、町税が10億7,356万円で、昨年度より3,371万円、減少しています。地方交付税は41億5,388万円で、全体の47.4%です。支出では、教育総務費が昨年度より、2億4,500

万円程、増えています。統合小中学校、土地代金・測量調査費等です。小・中学校費も、新パソコン購入・耐震工事・太陽光発電工事等で、1億3,000万円程、増加しました。

◆特別会計◆

国民健康保険特別会計他9会計です。なお、老人保健特別会計は、終了しました。



地方公共団体の財政健全化に関する、特別比率も実質赤字比率他、全て健全でした。今後、大型事業が進行していきますが、引き続き健全経営に、取り組んでいきたい。

平成23年度 9月補正予算

◆一般会計◆

収入・支出それぞれ、5億9,720万円の増額で、

予算総額は78億9,253万円です。収入の主なものは、地方交付税、繰越金、町債等の増額です。支出では、大型事業のため、基金費、教育費の増額です。

国民健康・介護・各保険等特別会計も補正されました。

町内ため池の耐震強度診断 が必要ではないか

町長 耐震基準がないため、診断はしていません

井出 和廣



問 町内22ヶ所のため池の耐震診断は。

町長 ため池の耐震基準が無く、実施していません。

問 貯水量の多い佐口湖などの安全性は。

町長 ため池危険度調査を実施しましたが、問題ないとの結果でありました。

建設課長 非常事態に備えて将来に向けて検討します。

問 小水力発電など、自然エネルギー活用に向けての考えは。

町長 小水力発電については、売電目的のみの施設建設も可能となることから採算面でも有利となります。こうした変化をとらえ、今後の導入を検討する予定です。

総務課長 幾つかの実例を観察し、可能性調査を実施した上で、結果がよければ具体的事業化を進めていきます。

町長 電気を電気事業者が買い取ることが義務づけられることで、住宅用太陽光発電の需要はさらに増加が見込まれます。補助単価については、設置費用が低下していることから、来年度も含め見直しが必要と考えます。



安全点検が望まれるため池

問 千ヶ日向テニスコートを、マレットゴルフ場に転換出来ないか。

教育長 統合小中学校のテニスコートは4面の計画であり、70名の部員を想定した場合、元でる公園テニスコートを使用することになります。一般の方が利用できるよう、千ヶ日向テニスコートの確保が必要です。マレットゴルフ場増設については、利用者の声を聞き調査、研究をいたします。

外来植物を駆除しては

駆除大作戦の協力や、私有地での駆除を皆さんに呼びかけたい

町長

井出 清嗣



問 外来植物の流入ルートを断つては。

町長 道路改良工事で、のり面の植物は、自然環境に配慮し、国産種子を使いたいと考えます。

問 森林と耕地の境界道路に、シ力防護さくを設けては。

町長 区毎、又は幾つかの区が共同で設置し、効果的な防除の普及に努めます。

入札制度の改善は

問 小規模の工事は、町内業者が携わるようにしては。

副町長 130万円未満の工事は、町内業者に配慮して対応しています。

問 統合小中学校建設工事で副、町内業者が仕事をできないか。

副町長 工事内容により、町内業者

が受注できるよう検討します。

東日本大震災への支援は

問 今後も支援活動を続ける必要があり、町としての考えは。

町長 被災地の声や現状に応じて、対応していきます。今後も、復興グループと連絡を取り合い、相当の期間、継続して支援を行います。



異常繁殖する外来植物

発達障害を早期発見する取り組み・支援は

町長

あらゆる発達段階において、早期発見し
それぞれ相談・支援しています

高見澤 春 野



問 5歳児健診・相談を、乳幼児検診メニューから外した理由は。

町長 支援体制が保育園にあること。保育指針の改定で、保育園が全園児の個別計画を作成することになっています。支援の必要な子どもさんは、状況に応じた支援を計画し、展開することになっています。

問 子どもが自立していくための、チームづくりの考えは。

子ども課長 各発達段階のステージごとに、対象となる子どもさんについて関係者・機関がチームとして取り組める体系（たてよこマップ）づくりを、早急に確立したいと思っています。

問 学校教育の場での支援と、今後の取り組みは。

教育長 町単独で、講師と支援員を配置し、通級、個別指導、複数教師体制を実施しています。教育ニーズに合わせた

環境整備、人的支援をしています。

先の見える食育推進を

問 食育推進計画にある程度の数値目標が必要では。

町長 目標数値の設定を検討すべきでした。次期計画策定では、可能なものは設定したいと考えます。

問 委員の年代層の分散化を考えては。

健康福祉課長 初めて気づきました。考えていきます。



子どもたちの健やかな成長を

新エネルギービジョンの 具体化は

町長

適した場所に適したエネルギー源を、との考えで導入をすすめます



中部横断自動車道の
残土利用について

問 中部横断自動車道工事による、残土の置場を何ヶ所か確保し、客土などに利用できないか。

町長 国土交通省にお聞きしたところ、残土は国有財産なので、個人への供与は

できないが、土取り場などに公に利用する目的で、町が借地契約している土地などに、ストックするのは可能ということです。

有休農地の利活用
について

問 定年後の生きがいに、家庭菜園がほしいという人のため、町が有休農地の紹介・賃貸契約の仲介などできないか。

産業振興課長 有休農地の管理や紹介は、農業委員会ですべてあります。

農地を貸してもいいという情報は、ホームページに紹介しています。



大量の残土が出る中部横断自動車道

一般質問

一般質問

自然災害における、被災者支援システムの導入は

総務課長

導入の方向で検討しています

岡部 勝一



問 今年8月7日の集中豪雨で、町内いたる所で被害がでました。今後の減災対策と安全政策の、町の取り組みは。

町長 気象庁や県の防災情報で、異常気象に備え迅速に対応するよう、心がけています。

問 中部横断自動車道や、周辺からの増水対策としての、北沢川の改修は。

町長 自動車道直下まで、事業継続化・要望活動を行っていきます。

問 災害時の被災者に対し行政サービスとしての、被災者支援システムの活用は。

総務課長

これは、被災者の氏名、住所、家屋、罹災証明書、義援金の処理、避難場所、救援物資、仮設住宅等、7つのシステムで構成されています。初期費用は必要ですが、次年度からの保守料は安価ですみます。補正予算を計上したいと考えています。

問 「空き家」対策の現状と国・県の補助事業は。

町長

仲介事業の継続や、都市計画制度、一部助成制度の導入を検討し、市街地再生が必要と考えます。



増水対策が求められる北沢川

平成23年度 第5回 臨時議会



新たに開設した林道

第5回臨時議会
が、7月15日に
開かれました

議案は1件。

● 林道の延長により、佐久穂町林道の設置及び管理条例の一部を改正する条例。

審議の結果、全員賛成で原案可決しました。

農業委員の
推薦について

高見澤征男氏、須田一男氏、小須田英子氏、岩崎行子氏、4名を議会が推薦することに決定しました。

総

括

質

疑

問 災害復旧費の、公共施設の測量設計委託料が、工事費より高額の理由は。

答 うそのくち線の、将来の道路設計も考慮し、計画を立てたためです。



うそのくち線の拡幅も視野に

問 各種検診事業の中で、肺がんの検査に効果があるヘリカルCT検査の実施項目がない理由は。

答 40歳から60歳にかけて5歳刻みで、節目ドックにおいて実施していきます。

問 ハケ岳地区森林の被害状況を確認し、今後の対策の考えは。

答 ニホンシカによる被害状況の把握のためです。今後の対策については、まだ検討しておりません。



シカによる被害

問 環境衛生費の負担金について、借地にある配電盤の移転工事は必要なのか。

答 私有地に設置されていますが支障があり、町有地への移転工事を行うものです。

問 総務費の、企画財政費で電波遮蔽対策事業補助金で、今後ほかの地域で難視聴地域があれば、同じような設置ができるか。

答 新たな難視聴地域が出てくれば、暫定的に地デジ難視対策の衛星放送で対応していただきます。



上区本郷の共聴アンテナ

問 選挙費で、ポスター掲示板設置に対して、佐久町地区と八千穂地区では、賃金の算出が統一されていないようだ。

答 合併前から佐久町地区では、バスの運転手の空き時間を利用し、八千穂地区では、シルバー人材センターで設置作業を行っており、所用時間で計算された請求で、支払っております。

問 農業振興費の、戸別所得補償制度が、当町の中山間地農業に対して、効果があったか。

答 戸別所得補償制度以前のほうが、農家に交付された従来の水田転作のほうが、良いかと感じています。



水田にソバを栽培



問 コミプラ事業で、公共接続に伴う経費として、南佐久環境衛生組合負担金を繰出しているが、受益者負担金はなかったかどうか。

答 コミュニティ・プラント事業、農業集落排水事業を実施し、既に一度負担金を徴収しているので、公共に繋がえによる受益者負担金は徴収しません。

活動から

総務文教常任委員会

統合小中学校整備

順調にすすむ

「学びと文化が織り成す心豊かな人」を育む学校づくりを理念に、佐久穂町に唯一となる小中学校の建設計画がすすめられています。9年間の学校生活がより充実したものとなるように、連携教育が図れ、一貫教育にスムーズに移行できる施設とします。

敷地取得・工事費他、全員が賛成しました。

事業費

土地取得費
(19,551㎡)
1億1,500万円。
水路改良費
540万円。
設計監理委託料
900万円。



財政調整基金 減債基金の積立

北部消防署の町内への移転、佐久総合病院基幹医療センター火葬場、ゴミ焼却場等々の建設負担金に対応するため、財政調整基金3億円の積立。また、借入金償還基金として、1億円減債基金として積立します。全員が賛成しました。

条例改正

暴力団排除の機運を高め、暴力団排除の活動の推進を図ることにより、町民の安全で平穏な生活と社会経済活動の健全な発展に寄与するため、佐久穂町暴力団排除条例が提案され、全員賛成しました。

その他、定住自立圏形成協定、税条例、特定公共賃貸住宅の設置、佐久広域連合規約の一部改正等の条例改正が提案されました。すべて全員賛成しました。議員発議による「地方自治法第180条第1項の規程による、町長の専決処分事項の指定について」1件100万円以下の損害賠償の場合、町長が専決処分することができるというもの。全員が賛成しました。

委員会

経済福祉常任委員会

グループホーム

「ほほえみ」設置

障がい者が、自立した日常生活や社会生活ができるよう、介護・相談等の日常生活上の支援を行う、共同生活施設グループホームほほえみが、平林の共同作業所を改修して発足します。

24年4月1日、事業開始に先立ち、施設の設置及び管理に関する条例を制定しました。

障がい者福祉の増進に、期待がされています。

ここでは、共同生活介護と、共同生活援助を行います。

シカ捕獲報奨金

300万円追加

シカによる農林業被害を防ぐため、シカ捕獲報奨金は有害基幹1頭1万円、狩猟期間1頭5千円で、捕獲を助めています。

8月までに捕獲したシカは477頭で、昨年はこの時期270頭でした。

今後捕獲数の増加が予想されますから、300万円の補正予算を可決しました。

集中豪雨災害復旧 1億4,300万円

7月3日及び、8月7日に町を襲った集中豪雨で、町内各所で田・畑の畦畔の崩落、道路肩の崩落、土砂流出する災害が発生しました。

この災害復旧工事、25箇所、補正予算1億4,300万円を、可決しました。

7月3日豪雨被害箇所
大石・八郡・松井・畑・馬越 6箇所

8月7日豪雨被害箇所
花岡・畑ケ中・川久保・高野町・四ッ谷・上・崎田・天神町・八郡・中畑・上畑・大久保 19箇所



町道崩落現場

視 察 報 告

7月20日・21日

総務文教常任委員会

子育て支援 岡谷市

自然エネルギーへの転換 飯田市

廃校舎の有効利用 北杜市

最初の視察地、子育て支援館「こどものくに」。岡谷市では、健康福祉部の中に「子ども課」を設けて子育て支援に力を入れています。目玉は、撤退した建物を市が買い取り、4階のフロアを使って「こどものくに」を開設していることです。

0〜3歳の子どもと保護者が無料で利用できます。他町村からも受け入れています。

子どもとともに、お母さん方の交流にも大きな役割を果たしているようです。

次に、飯田市を視察しました。

福島第一原発の深刻な事故を機に、日本のエネルギー政策のあり方が、根本から問われています。再生可能な自然エネルギーに転換していくことが課題です。視察した飯田市の太陽光発電所「メガソーラーいいだ」

は、飯田市と中部電力が共同で建設した発電所です。発電出力は平均1千KW、想定年間発電量100万KWhで、一般家庭300世帯の使用電力に相当します。枯渇することのないエネルギーであり、地球温暖化対策としての効果も大きく、今後に期待がされます。又、飯田市は国から「環境モデル都市」として選定されています。太陽光市民共同発電事業といった、市独自の事業をはじめ、木質ペレットの利用拡大など、環境政策を展開しています。

次の北杜市では、三代校舎とふれあいの里の視察です。津金地区に明治・大正・昭和の各時代に使われていた校舎を復元・模造し歴史資料館、農業体験施設、レストラン、宿泊施設として活躍しています。

3日間を通じて大変有意義な視察研修となりました。



メガソーラーいいだ

一日目は、震災から見事復興した長岡市山古志地域。二日目は、柏崎市での視察でした。

山古志地域は、中越地震での被害が甚大でした。町の中心を流れる川が土砂崩れにより、堰き止められダムが出来、そこにあった集落は水没。全戸移転となっていました。避難所生活の中、2年で帰りたいと願い、復興計画がつくられました。

2年とはいかなかったが、3年間で復興したそうです。

町営の復興住宅は、気候や暮らしを考慮した中山間地形の高床式住宅でした。短期間で復興できた一つの要因に、地域コミュニティが確立されている、どうしても村で暮らしたい、村を愛する、守ると強い想いがあつたからだと言われています。

いづどんな災害があるかわかりません。防災対策と地域コミュニティの確立の重要性を改めて認識した視察でした。

二日目は、柏崎市のNPO法人トライ・ネットに伺いました。

障がい者が地域でくらすことを柱に、11年前活動を始めた団体です。

障がい者が在宅でくらすための必要なサービスは、いくつかの必要サービスは何か。

いざという時に駆けつけられるヘルパーさん

緊急時に泊まれるショートステイ

- 日中通えるデイサービス
 - 訪問看護、医療
 - 権利擁護（成年後見）
 - 移動支援
 - 働く場所
 - くらす場所、終の住み家
 - 制度外の支援事業
- 「サービスがなければつくれないんです」代表の西川さん。
- 佐久穂町が、これからどう取り組んで行か、ヒントを頂いた視察でした。



木籠(こども)集落

大震災から見事復興・・・長岡市山古志地域
NPO法人トライ・ネット・・・柏崎市

経済福祉常任委員会



消費税課税商品

★★★ 請願

消費税増税に反対する 請願書

消費税廃止佐久地区
各界連絡会

代表委員 遠藤 勇

柏木 慶治

紹介議員

高見澤 春野

長期化する不況の出口が見えないまま発生した、東日本大震災により、国民生活はますます困難な状況におかれています。

この不況下で消費税増額を行えば、庶民の生活を直撃し、さらなる景気低迷という悪循環をもたらします。これらの理由から、消費税増税に反対すること。

(採 択)

原子力発電から撤退し 自然エネルギーへの政 策転換を求める請願書

新日本婦人の会
八千穂準支部

準支部長 小 椋 桂 子

紹介議員

高見澤 春野

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に、事実をもって明らかにしました。

現在の原発技術は本質的に未完成で、きわめて危険なものです。

以上をふまえて、原発から撤退を要求すると共に、次代を担う子どもたちのためにも、自然エネルギーへの政策転換を求めること。

(採 択)



郵政民営化の見直しを 求める請願書

佐久穂町高齢者クラブ
連合会

会長 山 浦 快 公

紹介議員

松 澤 健 一

郵政事業を民営化すれば、新しい事業が展開でき、利便性と効率性が向上し、よりよいサービスが提供できると言われ、民営化され4年が過ぎようとしています。しかし、現状ではいろいろな部署でサービスが大変低下しました。

利用者本意の郵便局サービスの復活のため、地域の実情を踏まえ、郵政三事業一体の経営となるよう、必要な措置を講じること。

(採 択)

★★★ 陳情

原発推進政策の抜本見直しと再生可能な自然エネルギーへの転換を求める陳情

佐久地区労働組合
連合会

議長 林 幸 彦

地方自治法第99条に基づき、つぎの事項を国に提出するよう陳情する。

- 原発災害収束と、避難者の支援、子どもの教育環境整備を。
- 原発事故の情報を開示と放射線安全基準の明確化。
- 自然エネルギーへの転換政策と、原発からの撤退プログラムをつくる。
- 原発事故を想定した防災対策をたてる。

(採 択)



太陽光発電パネル



いつも御世話になってい
ます。高野町駐在所です。
この町に暮らして五年目
になります。そして、今年
が最後となり、定年退職を
迎えます。

赴任後の一年間は、以前
の勤務場所と比べてしま
う日が多かったものです。自
動車の音がうるさい。お祭
りが少ない。寒さが厳しい
等々、どの土地に転動して
も、慣れ親しんだ土地を懐
かしく感じるものです。

しかし、そんな感傷的な思
いは、すぐに解消されまし
た。それは、町の皆さんが
明るく前向きに生きている
ことがわかったからです。
無論、何の苦も無くという
事ではないはずですが。

それでも明るく過ごせる工
ネルギーは、どこから湧い
て来るものなのか、教えて
欲しいとさえ感じています。

さて、町村合併後、よう
やく、違和感もなくなっ
てきたのかなと感じていま
す。そして、これから「新
生佐久穂町」として発展を
始めるときではないかと感
じています。

高速道路も延伸し、さら
に新しい道路が造られ、学
校

も統合される計画が進め
られています。そんな折、
残念に思うことがひとつあ
ります。

それは、新しい街づくりに
町の皆さんが声を発しない
ことです。

私も先輩から仕事の基本
として「声無きに聞け、闇
を見つめよ」と教えられ、



町の皆さんは、何が不安
なのか、何が心配なのか、
どうして欲しいと望んでい
るのか、そのための対策は
どうすればいいのかなど、
皆さんの安全、安心のため
に微力ながら努めていま
す。そんな中で、もっと早
く知っていれば打つ手も
あったと感じたこともあり

ました。
明日の佐久穂町づくりは
皆さんが主役なのです。皆
さん自身のために、子ども
達やお年寄りの人達のため
に、安全で住みよい、暮ら
しやすい町にするために声
を発して下さい。知恵を出
して下さい。他人任せでは
なく、自分から町づくりに
参加して下さい。

道路建設の槌
音は、すぐそこ
まで来ています。
新しい道路が一
本でいいだけで
町や地区が、そ
して生活までが
変わってしまう
様子を私は見て
知っています。
難題も山積しま
すが、時代の波
に取り残されな
いよう今がふんばり時だと
感じています。

この五年間、この町に住
まわせて頂き、喜怒哀楽を
共にさせて頂き感謝してい
ます。

豊かな自然、人情味あふ
れる皆さんの御健康と佐久
穂町の発展を遠くで見守ら
せていただきます。

閉会中の議員活動

6月～8月
(主なもの)

6月

- 南佐久環境衛生組合議会臨時会
- 青少年育成協議会
- 姉妹都市交流協会総会
- 観光協会総会
- 高速道対策協議会総会
- 広報編集調査特別委員会
- 佐久南部広域営農団地促進協議会総会
- 佐久広域連合議会定例会
- 茂来山コブ太郎保護協議会総会

7月

- 道路整備促進期成同盟会総会
- 国道299号整備促進期成同盟会総会
- 経済福祉常任委員会
- 佐久水道企業団水源感謝祭
- 南佐久郡議長会

8月

- 委員会視察
- 「やぐほいずら」
- 森林整備協定調印式
- 女性みちの会定期総会
- 統合小中学校建設検討委員会
- 広報編集研修会
- 信州佐久の「水」を守るシンポジウム
- 国道299号道路整備促進期成同盟会総会
- さくほ少年軟式野球大会開会式
- 県道下仁田佐久線整備促進期成同盟会総会
- 成人式
- 町村監査委員研修会
- 健康管理合同会議
- 佐久地域問題研修会
- 佐久水道議会定例会
- 元出る公園マレットゴルフ場オープンセレモニー

編集後記

脱穀が終わると、天候は
気にならないが、これ
からの農業は気になるこ
とばかり。後継者不足に
加え、TPPの動きには

不安がつのる。

TPP反対の意見書を
国に届けた議会として、
野田首相に申し上げたい。
「オバマにも米倉にも、は
つきりノーと言え」と。



さくほ 議会だより



ブルーーン



東小最後の運動会 「やったネ」絶妙のバランス！

9月定例会のあらまし	2P
平成22年度 一般・特別 各会計決算を認定 ..	3P
一般質問（5人が町政を質す）	4P～
第5回 臨時議会	6P
総括質疑	7P
委員会活動から	8P～
視察報告	10P
請願・陳情	11P
しらかば	12P

平成23年10月27日

第26号

発行：佐久穂町議会
議長 今井 邦三
編集：議会広報編集調査特別委員会
印刷：(有)東城印刷佐久穂工場
〒384-0697
長野県南佐久郡佐久穂町
大字高野町569
TEL 0267-86-2525
FAX 0267-86-4935

平成23年

9月定例会

定例会のあらまし

きびしい暑さは残るものの、秋の気配が漂い始めた中、第6回定例会が9月7日より開会されました。

町長は招集あいさつで、つい先日(9月2日)に野田新内閣が発足したことにつれ、待ったなしの震災復興、原発事故対応、世界的な景気低迷と円高など山積みする課題に、与野党とも協調し、国民の願いにこたえ、復興支援に当たってほしいとの思いを述べました。

台風12号は、近畿地方を中心に大きな被害をもたらしました。

今年は大震災とともに、想定外の災害が各地で起きているので、来年度は地域防災計画の見直しをしたいとの考えを示しました。

行政の動きについて、過日、町の主催で「みんなであれよう、心の健康」というテーマの健康管理合同会議を開催したことが報告されました。うつ病や自殺などに関する地域の現況を学習した結果、①偏見が多い精神疾患の症状と対応法を知ることの大切さ。②声か

けを中心とする地域のつながりの大切さ。この2つが共通の認識となったことです。

府中市と森林整備協定が締結されました。府中市のごみ袋焼却によって増える二酸化炭素排出量を、佐久穂町の森林整備によって生まれる二酸化炭素吸収増加分で相殺しようというもので、カーボンオフセット事業と呼ばれています。

統合小中学校整備事業では、建設検討委員会が6回にわたって開かれ、基本設計の原案及び修正案への意見等が提出されました。

この他、お米の放射性物質の検査のこと、元気が出る公園のマレットゴルフ場が改修オープンし、本年11月末まで無料とすることなどが報告されました。

提出された議案等は、平成22年度一般会計及び国保会計他10件の特別会計認定案、平成23年度一般会計及び特別会計補正予算案が、条例では、暴力団の排除条例案など6件が、他に広域連合規約改正案1件でした。請願3件、陳情1件が提出されました。

決算認定

平成22年度の一般会計及び、11の特別会計決算審議が行われ、認定されました。

専決処分

専決(議決を経ず予算を使うこと。後に議会の承認が必要)

7月3日に発生した集中豪雨災害の復旧費支出のため、一般会計を補正

条例

暴力団排除条例

町民の安全で平穏な生活確保を図ることを目的に、条例を制定。

定住自立圏に関する条例

佐久市を中心とする定住自立圏への参加、不参加を議決で決定する条例。

税条例改正

町税等を故意に不申告した者への、料引き上げなどの改正。

障がい者支援施設の設置条例

障がい者の共同生活支援施設「ほほえみ」の運

営に関する条例。

この他、町営住宅への入居条件緩和に関する条例、災害弔慰金の支給対象拡大に関する条例案が提出されました。

補正予算

一般会計、国保会計ほか3特別会計の補正予算。

一般会計は、統合小中学校建設に関連して、プール・テニスコートの解体工事費などが計上されました。

国保会計他特別会計の補正は、繰越金の増額などによるものです。

規約

佐久広域連合規約の改正です。成年後見支援センター、障害者支援センターの事務を、佐久広域連合で行うための規約改正です。

請願・陳情

消費税増税に反対する請願。原発から撤退し、自然エネルギーへの転換を求める請願及び陳情。郵政民営化の見直しを求める請願が提出されました。

一般質問

5人から提出され、防災対策、自然エネルギーの活用、外来植物の駆除、子育て支援などについて町政のあり方などを質しました。



9月定例会

平成22年度 一般・特別 各会計 決算を認定

一般会計

収入

87億6,094万2千円

支出

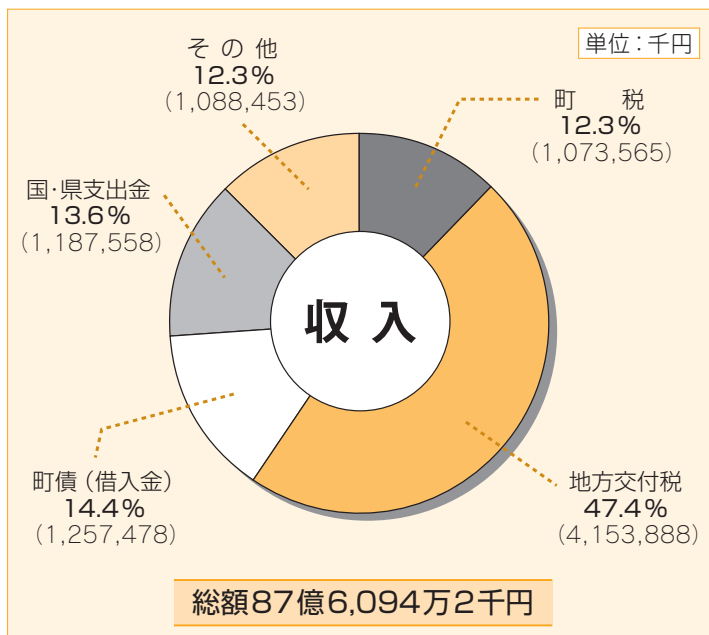
82億2,785万5千円

平成22年度決算

一般会計、特別会計決算について、慎重審議を行いました。それぞれを認定しました。

◆一般会計◆

収入決算額
87億6,094万2千円
支出決算額
82億2,785万5千円
翌年度繰越額、1億953万円を引いた、実質収支

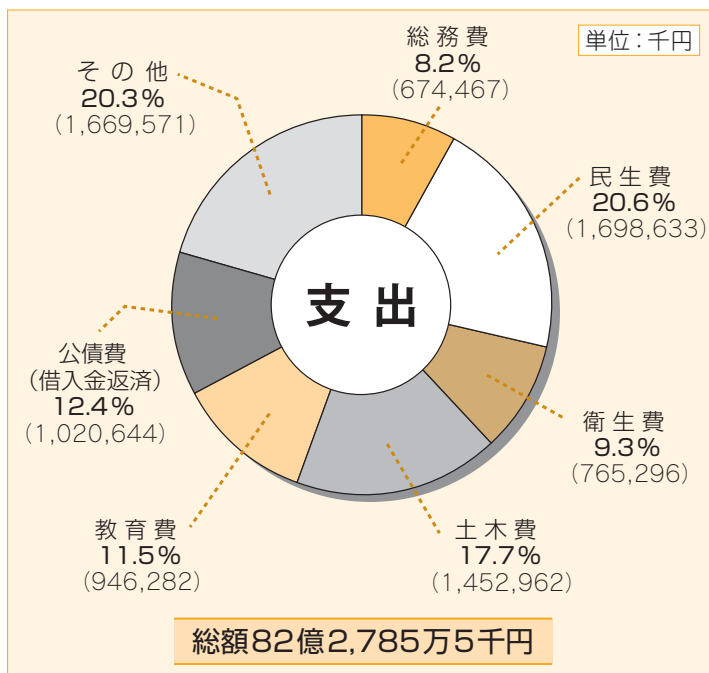


額は4億2,355万8千円となり、基金に2億1,500万円、積み立てました。主としての収入財源は、町税が10億7,356万円で、昨年度より3,371万円、減少しています。地方交付税は41億5,388万円で、全体の47.4%です。支出では、教育総務費が昨年度より、2億4,500

万円程、増えています。統合小中学校、土地代金・測量調査費等です。小・中学校費も、新パソコン購入・耐震工事・太陽光発電工事等で、1億3,000万円程、増加しました。

◆特別会計◆

国民健康保険特別会計他9会計です。なお、老人保健特別会計は、終了しました。



地方公共団体の財政健全化に関する、特別比率も実質赤字比率他、全て健全でした。今後、大型事業が進行していきますが、引き続き健全経営に、取り組んでいきたい。

平成23年度 9月補正予算

◆一般会計◆

収入・支出それぞれ、5億9,720万円の増額で、

予算総額は78億9,253万円です。収入の主なものは、地方交付税、繰越金、町債等の増額です。支出では、大型事業のため、基金費、教育費の増額です。

国民健康・介護・各保険等特別会計も補正されました。

町内ため池の耐震強度診断が必要ではないか

町長 耐震基準がないため、診断はしていません

井出 和廣



問 町内22ヶ所のため池の耐震診断は。

町長 ため池の耐震基準が無く、実施していません。

問 貯水量の多い佐口湖などの安全性は。

町長 ため池危険度調査を実施しましたが、問題ないとの結果でありました。

建設課長 非常事態に備えて将来に向けて検討します。

問 小水力発電など、自然エネルギー活用に向けての考えは。

町長 小水力発電については、売電目的のみの施設建設も可能となることから採算面でも有利となります。こうした変化をとらえ、今後の導入を検討する予定です。

総務課長 幾つかの実例を観察し、可能性調査を実施した上で、結果がよければ具体的事業化を進めていきます。

町長 電気を電気事業者が買い取ることが義務づけられることで、住宅用太陽光発電の需要はさらに増加が見込まれます。補助単価については、設置費用が低下していることから、来年度も含め見直しが必要と考えます。

問 千ヶ日向テニスコートを、マレットゴルフ場に転換出来ないか。

教育長 統合小中学校のテニスコートは4面の計画であり、70名の部員を想定した場合、元でる公園テニスコートを使用することになります。一般の方が利用できるよう、千ヶ日向テニスコートの確保が必要です。マレットゴルフ場増設については、利用者の声を聞き調査、研究をいたします。



安全点検が望まれるため池

外来植物を駆除しては

駆除大作戦の協力や、私有地での駆除を皆さんに呼びかけたい

町長

井出 清嗣



問 外来植物の流入ルートを断つては。

町長 道路改良工事で、のり面の植物は、自然環境に配慮し、国産種子を使いたいと考えます。

問 森林と耕地の境界道路に、シ力防護さくを設けては。

町長 区毎、又は幾つかの区が共同で設置し、効果的な防除の普及に努めます。

入札制度の改善は

問 小規模の工事は、町内業者が携わるようにしては。

副町長 130万円未満の工事は、町内業者に配慮して対応してます。

問 統合小中学校建設工事で副、町内業者が仕事をできないか。

副町長 工事内容により、町内業者

が受注できるよう検討します。

東日本大震災への支援は

問 今後も支援活動を続ける必要があり、町としての考えは。

町長 被災地の声や現状に応じて、対応していきます。今後も、復興グループと連絡を取り合い、相当の期間、継続して支援を行いたいと考えています。



異常繁殖する外来植物

発達障害を早期発見する取り組み・支援は

町長

あらゆる発達段階において、早期発見し
それぞれ相談・支援しています

高見澤 春 野



問 5歳児健診・相談を、乳幼児検診メニューから外した理由は。

町長 支援体制が保育園にあること。保育指針の改定で、保育園が全園児の個別計画を作成することになっています。支援の必要な子どもさんは、状況に応じた支援を計画し、展開することになっています。

問 子どもが自立していくための、チームづくりの考えは。

子ども課長 各発達段階のステージごとに、対象となる子どもさんについて関係者・機関がチームとして取り組める体系（たてよこマップ）づくりを、早急に確立したいと思っています。

問 学校教育の場での支援と、今後の取り組みは。

教育長 町単独で、講師と支援員を配置し、通級、個別指導、複数教師体制を実施しています。教育ニーズに合わせた

環境整備、人的支援をしています。

先の見える食育推進を

問 食育推進計画にある程度の数値目標が必要では。

町長 目標数値の設定を検討すべきでした。次期計画策定では、可能なものは設定したいと考えます。

問 委員の年代層の分散化を考えては。

健康福祉課長 初めて気づきました。考えていきます。



子どもたちの健やかな成長を

新エネルギービジョンの 具体化は

町長

適した場所に適したエネルギー源を、との考えで導入をすすめます



中部横断自動車道の
残土利用について

問 中部横断自動車道工事による、残土の置場を何ヶ所か確保し、客土などに利用できないか。

町長 国土交通省にお聞きしたところ、残土は国有財産なので、個人への供与は

できないが、土取り場などに公に利用する目的で、町が借地契約している土地などに、ストックするのは可能ということです。

有休農地の利活用
について

問 定年後の生きがい、家庭菜園がほしいという人のため、町が有休農地の紹介・賃貸契約の仲介などできないか。

産業振興課長 有休農地の管理や紹介は、農業委員会ですべてあります。

農地を貸してもいいという情報は、ホームページに紹介しています。



大量の残土が出る中部横断自動車道

一般質問

一般質問

自然災害における、被災者支援システムの導入は

総務課長

導入の方向で検討しています

岡部 勝一



問 今年8月7日の集中豪雨で、町内いたる所で被害がでました。今後の減災対策と安全政策の、町の取り組みは。

町長 気象庁や県の防災情報で、異常気象に備え迅速に対応するよう、心がけています。

問 中部横断自動車道や、周辺からの増水対策としての、北沢川の改修は。

町長 自動車道直下まで、事業継続化・要望活動を行っていきます。

問 災害時の被災者に対し行政サービスとしての、被災者支援システムの活用は。

総務課長

これは、被災者の氏名、住所、家屋、罹災証明書、義援金の処理、避難場所、救援物資、仮設住宅等、7つのシステムで構成されています。初期費用は必要ですが、次年度からの保守料は安価ですみます。補正予算を計上したいと考えています。

問 「空き家」対策の現状と国・県の補助事業は。

町長

仲介事業の継続や、都市計画制度、一部助成制度の導入を検討し、市街地再生が必要と考えます。



増水対策が求められる北沢川

平成23年度 第5回 臨時議会



新たに開設した林道

第5回臨時議会
が、7月15日に
開かれました

議案は1件。

● 林道の延長により、佐久穂町林道の設置及び管理条例の一部を改正する条例。

審議の結果、全員賛成で原案可決しました。

農業委員の
推薦について

高見澤征男氏、須田一男氏、小須田英子氏、岩崎行子氏、4名を議会が推薦することに決定しました。

総

括

質

疑

問 災害復旧費の、公共施設の測量設計委託料が、工事費より高額の理由は。

答 うそのくち線の、将来の道路設計も考慮し、計画を立てたためです。



うそのくち線の拡幅も視野に

問 各種検診事業の中で、肺がんの検査に効果があるヘリカルCT検査の実施項目がない理由は。

答 40歳から60歳にかけて5歳刻みで、節目ドックにおいて実施していきます。

問 ハケ岳地区森林の被害状況を確認し、今後の対策の考えは。

答 ニホンシカによる被害状況の把握のためです。今後の対策については、まだ検討しておりません。



シカによる被害

問 環境衛生費の負担金について、借地にある配電盤の移転工事は必要なのか。

答 私有地に設置されていますが支障があり、町有地への移転工事を行うものです。

問 総務費の、企画財政費で電波遮蔽対策事業補助金で、今後ほかの地域で難視聴地域があれば、同じような設置ができるか。

答 新たな難視聴地域が出てくれば、暫定的に地デジ難視対策の衛星放送で対応していただきます。



上区本郷の共聴アンテナ

問 選挙費で、ポスター掲示板設置に対して、佐久町地区と八千穂地区では、賃金の算出が統一されていないようだ。

答 合併前から佐久町地区では、バスの運転手の空き時間を利用し、八千穂地区では、シルバー人材センターで設置作業を行っており、所用時間で計算された請求で、支払っております。

問 農業振興費の、戸別所得補償制度が、当町の中山間地農業に対して、効果があったか。

答 戸別所得補償制度以前のほうが、農家に交付された従来の水田転作のほうが、良いかと感じています。



水田にソバを栽培



答 コミュニティ・プラント事業、農業集落排水事業を実施し、既に一度負担金を徴収しているので、公共に繋がえによる受益者負担金は徴収しません。

問 コミプラ事業で、公共接続に伴う経費として、南佐久環境衛生組合負担金を繰出しているが、受益者負担金はなかったかどうか。

活動から

総務文教常任委員会

統合小中学校整備

順調にすすむ

「学びと文化が織り成す心豊かな人」を育む学校づくりを理念に、佐久穂町に唯一となる小中学校の建設計画がすすめられています。9年間の学校生活がより充実したものとなるように、連携教育が図れ、一貫教育にスムーズに移行できる施設とします。

敷地取得・工事費他、全員が賛成しました。

事業費

土地取得費
(19,551㎡)
1億1,500万円。
水路改良費
540万円。
設計監理委託料
900万円。



財政調整基金 減債基金の積立

北部消防署の町内への移転、佐久総合病院基幹医療センター火葬場、ゴミ焼却場等々の建設負担金に対応するため、財政調整基金3億円の積立。また、借入金償還基金として、1億円減債基金として積立します。全員が賛成しました。

条例改正

暴力団排除の機運を高め、暴力団排除の活動の推進を図ることにより、町民の安全で平穏な生活と社会経済活動の健全な発展に寄与するため、佐久穂町暴力団排除条例が提案され、全員賛成しました。

その他、定住自立圏形成協定、税条例、特定公共賃貸住宅の設置、佐久広域連合規約の一部改正等の条例改正が提案されました。すべて全員賛成しました。議員発議による「地方自治法第180条第1項の規程による、町長の専決処分事項の指定について」1件100万円以下の損害賠償の場合、町長が専決処分することができるというもの。全員が賛成しました。

委員会

経済福祉常任委員会

グループホーム

「ほほえみ」設置

障がい者が、自立した日常生活や社会生活ができる

す。

24年4月1日、事業開始

に先たち、施設の設置及び管理に関する条例を制定しました。

ほえみが、平林の共同作業所を改修して発足します。

障がい者福祉の増進に、期待がされています。

ここでは、共同生活介護と、共同生活援助を行います。

障がい者福祉の増進に、期待がされています。

シカ捕獲報奨金

300万円追加

シカによる農林業被害を防ぐため、シカ捕獲報奨金は有害基幹1頭1万円、狩猟期間1頭5千円で、捕獲を助めています。

です。

8月までに捕獲したシカは477頭で、昨年はこの時期270頭でした。

今後捕獲数の増加が予想されますから、300万円の補正予算を可決しました。

捕獲により、個体数を調整し、適正な生息数まで削減を図ることが、ネット設置と共に、被害防止に重要

集中豪雨災害復旧 1億4,300万円



町道崩落現場

7月3日及び、8月7日に町を襲った集中豪雨で、町内各所で田・畑の畦畔の崩落、道路肩の崩落、土砂流出する災害が発生しました。

この災害復旧工事、25箇所、補正予算1億4,300万円を、可決しました。

7月3日豪雨被害箇所
大石・八郡・松井・畑・馬越 6箇所

8月7日豪雨被害箇所
花岡・畑ケ中・川久保・高野町・四ツ谷・上・崎田・天神町・八郡・中畑・上畑・大久保 19箇所

視
察
報
告

7月20日・21日

総務文教常任委員会

子育て支援 岡谷市

自然エネルギーへの転換 飯田市

廃校舎の有効利用 北杜市

最初の視察地、子育て支援館「こどものくに」。

岡谷市では、健康福祉部の中に「子ども課」を設けて子育て支援に力を入れています。目玉は、撤退した建物を市が買い取り、4階のフロアを使って「こどものくに」を開設していることです。

0～3歳の子どもと保護者が無料で利用できます。他町村からも受け入れています。

子どもとともに、お母さん方の交流にも大きな役割を果たしているようです。

次に、飯田市を視察しました。

福島第一原発の深刻な事故を機に、日本のエネルギー政策のあり方が、根本から問われています。再生可能な自然エネルギーに転換していくことが課題です。視察した飯田市の太陽光発電所「メガソーラーいいだ」

は、飯田市と中部電力が共同で建設した発電所です。発電出力は平均1千KW、想定年間発電量100万KWhで、一般家庭300世帯の使用電力に相当します。枯渇することのないエネルギーであり、地球温暖化対策としての効果も大きく、今後に期待がされます。又、飯田市は国から「環境モデル都市」として選定されています。太陽光市民共同発電事業といった、市独自の事業をはじめ、木質ペレットの利用拡大など、環境政策を展開しています。

次の北杜市では、三代校舎とふれあいの里の視察です。津金地区に明治・大正・昭和の各時代に使われていた校舎を復元・模造し歴史資料館、農業体験施設、レストラン、宿泊施設として活躍しています。

3日間を通じて大変有意義な視察研修となりました。



メガソーラーいいだ

一日目は、震災から見事復興した長岡市山古志地域。二日目は、柏崎市での視察でした。

山古志地域は、中越地震での被害が甚大でした。町の中心を流れる川が土砂崩れにより、堰き止められダムが出来、そこにあった集落は水没。全戸移転となりました。

避難所生活の中で、2年で帰りたいと願い、復興計画がつけられました。

2年とはいかなかったが、3年間で復興したそうです。

町営の復興住宅は、気候や暮らしを考慮した中山間地形の高床式住宅でした。

短期間で復興できた一つの要因に、地域コミュニティが確立されている、どうしても村で暮らしたい、村を愛する、守るといふ強い想いがあつたからだと言われています。

いづどんな災害があるかわかりません。防災対策と地域コミュニティの確立の重要性を改めて認識した視察でした。

二日目は、柏崎市のNPO法人トライ・ネットに伺いました。

障がい者が地域でくらすことを柱に、11年前活動を始めた団体です。

障がい者が在宅でくらすための必要なサービスはいくつの必要サービスは何か。

いざという時に駆けつけられるヘルパーさん

緊急時に泊まれるショートステイ

- 日中通えるデイサービス
 - 訪問看護、医療
 - 権利擁護（成年後見）
 - 移動支援
 - 働く場所
 - くらす場所、終の住み家
 - 制度外の支援事業
- 「サービスがなければつくれないんです」代表の西川さん。
- 佐久穂町が、これからどう取り組んで行か、ヒントを頂いた視察でした。



木籠(こども)集落

大震災から見事復興・・・長岡市山古志地域
NPO法人トライ・ネット・・・柏崎市

経済福祉常任委員会



消費税課税商品

★★★ 請願

消費税増税に反対する 請願書

消費税廃止佐久地区
各界連絡会

代表委員 遠藤 勇

柏木 慶治

紹介議員

高見澤 春野

長期化する不況の出口が見えないまま発生した、東日本大震災により、国民生活はますます困難な状況におかれています。

この不況下で消費税増額を行えば、庶民の生活を直撃し、さらなる景気低迷という悪循環をもたらします。これらの理由から、消費税増税に反対すること。

(採 択)

原子力発電から撤退し 自然エネルギーへの政 策転換を求める請願書

新日本婦人の会
八千穂準支部

準支部長 小 椋 桂 子

紹介議員

高見澤 春野

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に、事実を持って明らかにしました。

現在の原発技術は本質的に未完成で、きわめて危険なものです。

以上をふまえて、原発から撤退を要求すると共に、次代を担う子どもたちのためにも、自然エネルギーへの政策転換を求めること。

(採 択)



郵政民営化の見直しを 求める請願書

佐久穂町高齢者クラブ
連合会

会長 山 浦 快 公

紹介議員

松 澤 健 一

郵政事業を民営化すれば、新しい事業が展開でき、利便性と効率性が向上し、よりよいサービスが提供できると言われ、民営化され4年が過ぎようとしています。しかし、現状ではいろいろな部署でサービスが大変低下しました。

利用者本意の郵便局サービスの復活のため、地域の実情を踏まえ、郵政三事業一体の経営となるよう、必要な措置を講じること。

(採 択)

★★★ 陳情

原発推進政策の抜本見直しと再生可能な自然エネルギーへの転換を求める陳情

佐久地区労働組合
連合会

議長 林 幸彦

地方自治法第99条に基づき、つぎの事項を国に提出するよう陳情する。

- 原発災害収束と、避難者の支援、子どもの教育環境整備を。
- 原発事故の情報を開示と放射能安全基準の明確化。
- 自然エネルギーへの転換政策と、原発からの撤退プログラムをつくる。
- 原発事故を想定した防災対策をたてる。

(採 択)



太陽光発電パネル



いつも御世話になってい
ます。高野町駐在所です。
この町に暮らして五年目
になります。そして、今年
が最後となり、定年退職を
迎えます。

赴任後の一年間は、以前
の勤務場所と比べてしま
う日が多かったものです。自
動車の音がうるさい。お祭
りが少ない。寒さが厳しい
等々、どの土地に転動して
も、慣れ親しんだ土地を懐
かしく感じるものです。

しかし、そんな感傷的な思
いは、すぐに解消されまし
た。それは、町の皆さんが
明るく前向きに生きている
ことがわかったからです。
無論、何の苦も無くという
事ではないはずですが。

それでも明るく過ごせる工
ネルギーは、どこから湧い
て来るものなのか、教えて
欲しいとさえ感じています。

さて、町村合併後、よう
やく、違和感もなくなっ
てきたのかなと感じていま
す。そして、これから「新生
佐久穂町」として発展を始
めるときではないかと感じ
ています。

高速道路も延伸し、さらに
新しい道路が造られ、学校

も統合される計画が進めら
れています。そんな折、残
念に思うことがひとつあり
ます。

それは、新しい街づくりに
町の皆さんが声を発しない
ことです。

私も先輩から仕事の基本
として「声無きに聞け、闇
を見つめよ」と教えられ、

ました。

明日の佐久穂町づくりは
皆さんが主役なのです。皆
さん自身のために、子ども
達やお寄りの人達のため
に、安全で住みよい、暮ら
しやすい町にするために声
を発して下さい。知恵を出
して下さい。他人任せでは
なく、自分から町づくりに



町の皆さんは、何が不安な
のか、何が心配なのか、ど
うして欲しいと望んでいる
のか、そのための対策はど
うすればいいのかな等、町の
皆さんの安全、安心のため
に微力ながら努めてきまし
た。そんな中で、もっと早
く知っていれば打つ手も
あったと感じたこともあり
ていただきます。

この五年間、この町に住
まわせて頂き、喜怒哀楽を
共にさせて頂き感謝してい
ます。

豊かな自然、人情味あふ
れる皆さんの御健康と佐久
穂町の発展を遠くで見守ら
せていただきます。

閉会中の議員活動

6月～8月
(主なもの)

6月

- 南佐久環境衛生組合議会臨時会
- 青少年育成協議会
- 姉妹都市交流協会総会
- 観光協会総会
- 高速道対策協議会総会
- 広報編集調査特別委員会
- 佐久南部広域営農団地促進協議会総会
- 佐久広域連合議会定例会
- 茂来山コブ太郎保護協議会総会

7月

- 道路整備促進期成同盟会総会
- 国道299号整備促進期成同盟会総会
- 経済福祉常任委員会
- 佐久水道企業団水源感謝祭
- 南佐久郡議長会
- 委員会視察
- 「やぐほいずら」
- 森林整備協定調印式
- 女性みちの会定期総会
- 統合小中学校建設検討委員会
- 広報編集研修会
- 信州佐久の「水」を守るシンポジウム

8月

編集後記

脱穀が終わると、天候は
気にならないが、これ
からの農業は気になるこ
とばかり。後継者不足に
加え、TPPの動きには

不安がつる。

TPP反対の意見書を
国に届けた議会として、
野田首相に申し上げたい。
「オバマにも米倉にも、は
つきりノーと言え」と。